

2022年度決算「課別・事業別行政評価シート」について

『令和4年度(2022年度)町田市課別・事業別行政評価シート』を作成しました。

■ 「課別・事業別行政評価シート」とは

町田市では、2012年4月から、市町村では全国で初めて、複式簿記・発生主義の考え方を会計制度に取り入れており、毎年度の決算では、財務情報に組織の使命、事業目的や事業の成果といった非財務情報を加えて決算状況をまとめた「課別・事業別行政評価シート」を作成、公表しています。

■ 2022年度決算の概要

(1) 作成事業数

225事業（課別101事業、事業別120事業、会計別4事業）

(2) 2022年度決算の特徴

・「課題解決・目標達成に向けた今後の取り組み」の取組状況

225事業中220事業で、前年度(2021年度決算)において掲げた課題、目標に対する取り組みを実施することができました。

・単位あたりコスト[※]における改善割合の状況

単位あたりコストを算定している129事業のうち67事業で単位あたりコストが改善しました。主な要因としては、新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着いてきたことにより、施設利用者数が回復したことが挙げられます。

※例 施設利用者1人あたりにかかるコスト、給食1食あたりにかかるコスト等

・過年度データとの比較・分析

2022年度決算では、過去のデータと2022年度の行政コストを比較分析し、そこから得られる課題等に対して、今後の見通しや対応について記載しています。

■ 「令和4年度(2022年度)町田市課別・事業別行政評価シート」の閲覧について

町田市ホームページから閲覧することができます。

[トップページ > 市政情報 > 市の財務状況 > 町田市の新公会計制度について > 決算]

https://www.city.machida.tokyo.jp/shisei/gyouzaisei/shin_ko-kaikei/kessan/index.html

■ ダイジェスト版の概要

市民に身近な小学校給食事業、廃棄物収集事業など14事業について、決算状況をわかりやすくまとめた「ダイジェスト版」を市政懇談会等で配布します。